

## 銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza-machidukuri.jp>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています  
● 本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます

6月13日、紙パルプ会館フェニックスプラザにて、2010年度・銀座街づくり会議の活動報告会を開催しました。主な内容は、1) 銀座街づくり会議・この1年間の活動報告、2) 銀座デザイン協議会・デザインレビュー、3) 銀座デザインルール改訂の内容、の

3つです。小坂俊幸評議会議長の挨拶に始まり、銀座街づくり会議アドバイザーである葦原敬さん(都市プランナー)、小林博人さん(慶應義塾大学准教授)のご報告によってすすめられました。集まった150人の方々は、最後まで熱心に耳を傾けました。

「銀座街づくり会議」:: 報告会

## 『銀座デザインルール』改訂に向けて + デザインレビュー2011

### 銀座街づくり会議活動報告と、 デザインレビュー

銀座街づくり会議はこの1年間、6回の評議会を開催し、様々なまちづくり課題について話し合ってきました。昨秋には、吉田副区长による講演会を開催しました。

銀座デザイン協議会の運営も主要な活動の1つです。銀座デザイン協議会は2006年秋の設立以来、509件の案件を受け付けてきました。そのうち、2010年に対応したのは179件で、袖看板、壁面広告を含む広告デザイン変更の割合が最も多くなっています。大規模開発は現在、(仮)ギンザコマツ計画、松竹歌舞伎座の建て替え、6丁目開発(松坂屋他)、TSビル(旧東芝ビル)の4つが進行中です。

銀座デザイン協議会のような取り組みは、世界的にも注目を集める仕組みです。それを可能にしているのが、銀座の街の団結力と、それを支える中央区の仕組みの強さと意識の高さです。そして官民がうまく連携することによってまわっているのです。しかしながら、持続可能とするためには財源が欠かせません。現在は全銀座会の会費のみで運営されていますが、費用負担という観点からの官民連携が模索される必要があります。

会場からは「協議しても聞いてもらえない時に手段はないのか」という質問が出ました。説得と世論に訴える以外に道はないのですが、どうしても困る場合は、区に働きかけて地区計画に盛り込んでもらうなど、行政的に対処してもらうことが必要です。

### 「銀座デザインルール」改訂版の作成

大きな方針は変わりません。「銀座らしさ」を数値や言語で規制することなく、事業者の皆様の創造性を重視しながら、やわらかいルールと協議プロセスによって、

銀座の街の人々の意見と専門家の意見を反映させることが協議の目的です。約4年半の協議実績をふまえ、事業者の方に、銀座の都市デザインに対する考え方をよりわかりやすくお伝えし、また手続きをすすめるにあたってより使いやすくなるように編集しなおそうとするものです。また、事例を通して明らかになってきた課題については、具体的に書くように努めます。

たとえば、音、光、臭い、動画を使った新しい広告媒体については、周囲の迷惑にならないように特に気をつけていただきたいこと。新しく袖看板を付ける場合、隣のビルとの関係に留意していただきたいこと。袖看板全体の景観に留意していただきたいこと。工事中の仮囲いについては、街ににぎわいをもたらす美しいものにしていただきたいこと、等です。

都市デザイン課題としては、ランドマークとなる建物の保存・再生の問題、銀座に少ない「公共空間」の作り方と使い方、交通の問題(荷捌き駐車場、身障者用駐車場、違法駐輪・駐バイク、公共交通の導入等)、銀座に適した建物用途の検討、喫煙場所の問題、維持・継承されるべき文化とは何かといった問題に加え、東日本大震災によってより切実になった、環境問題、省エネルギー、防災などの問題があげられます。

以上のような内容を盛り込み、今秋発行をめどに編集作業をすすめています。

- ・当日配布資料 内容をまとめた資料がございます。\*当日の資料には誤りがございました。修正版をご希望の方もお問合せください。
- ・DVD 貸出ししております。
- ・議事録 ただいま作成中です。もう少々お待ち下さい。

【問合せ先】銀座街づくり会議(担当:黒田)

電話: 03-3567-1535

メール: [info@ginza-machidukuri.jp](mailto:info@ginza-machidukuri.jp)